

項目選定条件について①

[条件1] 回答(選択肢)と二次判定のクロス表を作成し、 χ^2 値による検定を実施し、

二次判定別の回答構成に差があるかを確認

選定条件: 検定結果が0.1%の有意水準を満たさない設問を除外対象とする

《×;除外の例》

「検定結果が0.1%の有意水準を満たさない」

16-8-6 訪問者 医療関係職 (要支援1・要支援2を除く)

設問	選択肢	要介護度					計
		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
16-8-6 訪問者 医療関係者	1 毎日	171	278	544	653	686	2,332
	2 1回/週	6	20	41	51	46	164
	3 1回/月	4	7	13	13	11	48
	4 ない	90	156	218	257	242	963
		271	461	816	974	985	3,507

$\chi^2=23.7$ 有意確率 $P=0.023 > 0.1\%$

《○;選定の例》

「検定結果が0.1%の有意水準を満たしている」

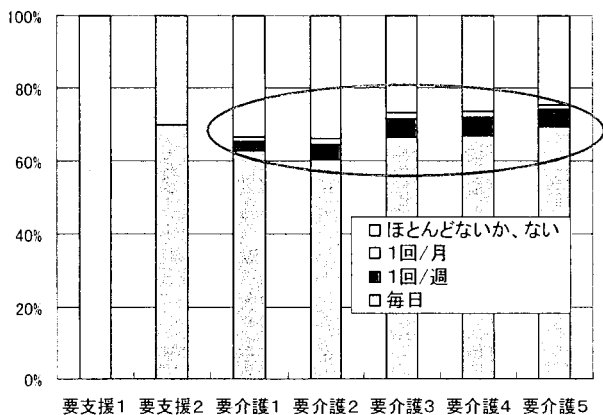
14-7 昼間から寝ていたり閉じこもる (要支援1・要支援2を除く)

設問	選択肢	要介護度					計
		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
14-7 昼間から寝ていたり 閉じこもる	1 ない	181	302	552	733	865	2,633
	2 まれにある	41	54	95	70	16	276
	3 とときある	23	52	76	61	13	225
	4 よくある	26	53	93	110	91	373
		271	461	816	974	985	3,507

$\chi^2=199.0$ 有意確率 $P=0.000 < 0.1\%$

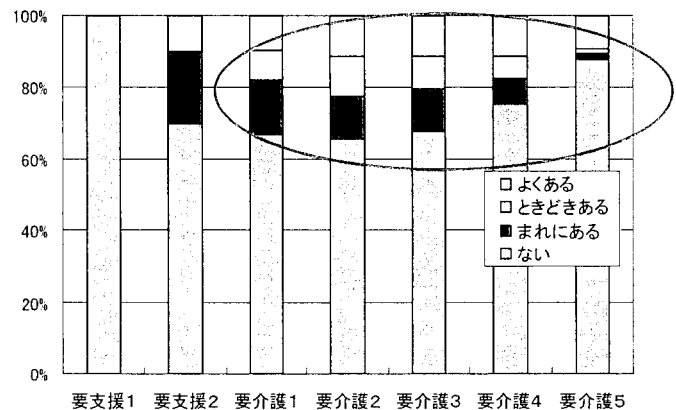
要介護度別の回答構成の差が小さい

16-8-6 訪問者 医療関係職



要介護度別の回答構成の差が大きい

14-7 昼間から寝ていたり閉じこもる



項目選定条件について③

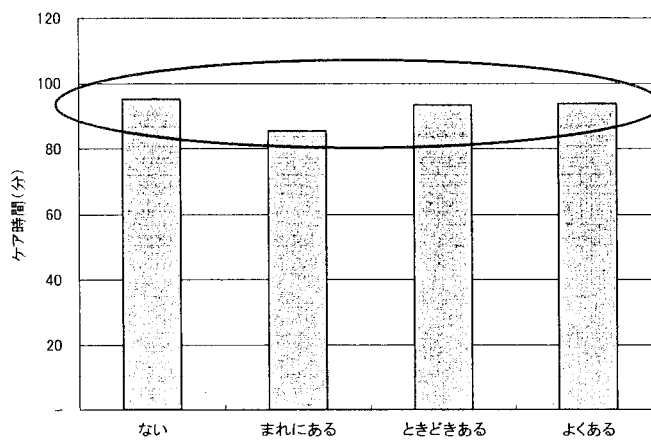
[条件3] 回答(選択肢)と施設調査ケア時間の関係を一元配置分散分析で確認し、
 回答(選択肢)別のケア時間に差があるかを確認
 選定条件; 検定結果が0.1%の有意水準を満たさない設問を除外対象とする

《×;除外の例》

「検定結果が0.1%の有意水準を満たさない」

14-5 過度に悲観的になる 有意確率 $P=0.014 > 0.1\%$

過度に悲観的になる



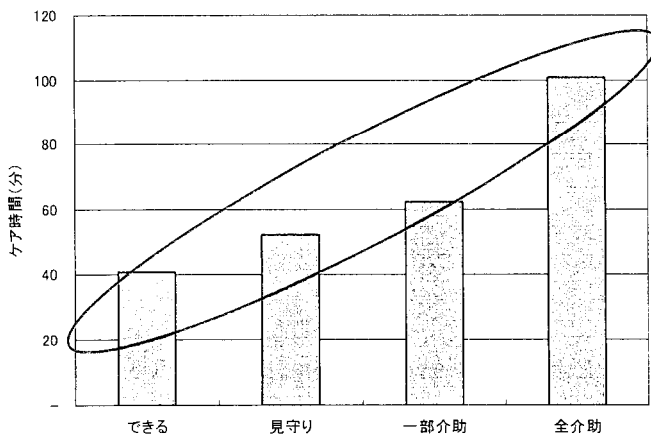
回答選択肢別のグループ間のケア時間に統計的に差がない

《○;選定の例》

「検定結果が0.1%の有意水準を満たしている」

13-7 ごみ捨て 有意確率 $P=0.000 < 0.1\%$

ごみ捨て



回答選択肢別のグループ間のケア時間に差がある